

早・晩期栽培における水稲品種の生態的特性に関する研究
第1報 水稲品種の感光性による分類並びにこれと早晩期栽培との関係

岡田正憲・西山寿
(九州農業試験場)

晩期或いは早期栽培用適品種の選定及び品種育成の参考に供する目的で主要品種 35 品種について感光性程度を明らかにし、これを次のように分類した。感光率 40% を境として敏感な群 (M_2 群) と鈍感な群 (M_1 群) に大別した。 M_2 群は K・Z・M 因子を主体とするものであり、 M_1 群は G・O・F 因子を主体とするものである。短日感応性、長日感応性の程度に

より更に M_2 群を Se 群, SL 群, sL 群に区分し、 M_1 群を s'l 群, sl' 群に区分した。西南暖地早晩期栽培の過去 3 ヶ年の成績を総合して、早期栽培における有望品種は M_1 群中の s'l 群に属する品種が大部分を占め、晩期栽培においては M_2 群中の Sl 群に属する品種が大部分を占めていることがみとめられた。(本報は九州農業試験場彙報に報告の予定)